

県政と皆様を結ぶ情報誌



県政報告

Vol.16

2022.11月発行

愛知県議会議員

神谷まさひろ

「日記形式での県政報告Vol.16」をお届けします。刈谷市内各地域において秋祭り・運動会・芸能発表会・文化祭など3年ぶりに様々な行事が再開されています。この県政報告では9月定例愛知県議会の内容だけでなく、愛知県に関する各種イベントや行事、道路の開通など少ない紙面をやり繰りしながら、多様な内容を皆様にお伝えするように心掛けています。ぜひともご覧頂き、県政を少しでも身近に感じて頂けたら幸いです。



9.29 木

学校における教員不足解消に向けて

9

月定例愛知県議会一般質問の2日目。自民党5名・新政あいち2名の計7名が登壇しました。

質問の中で「学校における教員不足」についてのやり取りがありました。その中から「教員不足の解消に向けた今後の対応」について概要を紹介します…

- ① 正規教員の積極的な採用を進めていきたいと考えている。このため、前年度の125人の教員不足を考慮して、来年度は、採用予定者数を140人増やして、1,710人とする。
- ② 来年度からの導入が見込まれる定年年齢の段階的な引上げにより、定年退職者が発生しない年においても、積極的に正規教員を採用する。
- ③ 教員不足の根本的な解決のためには、教職の魅力を高め、教員志望者を増加させることが必要。このため、部活動指導員やICT機器の活用支援員といった外部人材を活用するとともに、民間コンサルタントの活用による業務改善を行って、働き方改革を積極的に進める。これにより、教員が子供たち一人一人としっかりと向き合う時

間を確保し、児童生徒が成長する姿を実感ができる、働きがいのある魅力的な教育環境をつくって行く。

- ④ これらの取組を、教員を志望する大学生に向けて、Webページや教員採用説明会で積極的にアピールしたり、高校生が将来、教員になりたいという気持ちを持つように働きかけるために、教員の魅力を伝えるパンフレットを全ての県立学校へ配布し、教員志望者の増加につなげる。
- ⑤ 国は中央教育審議会において、教員採用選考試験の実施時期を民間企業の採用と同時期に早めることや、大学3年時に一次試験の受験を可能とするなどの検討を進めている。愛知県においても、より受験しやすい教員採用選考試験を導入し、有益な人材を数多く確保する。



以上のような取組を進めて、愛知の教育の質の維持向上を図るとともに、教員不足の解消に努めて行く。

10.8 土

1つの政策で多くの相乗効果を！

神

谷まさひろ事務所主催による『いただきます2 オーガニック給食編』上映会＋東郷町長との対談を開催しました。参加者約150名。

帰り際に多くの方から「良かった」「町長さんは立派ですね」などと言って頂きました。7月に東郷町長とお会いした時に「この方の話を刈谷市で多くの皆さんに聞いて貰いたい」と思った私の直感は大正解でした。



この映画にも出て来たように日本各地でオーガニック給食の取り組みが広がっています。町長さんの話でも判るようにオーガニック給食を推進することは目的ではなくて手段であり、オーガニック給食を推進することは、産業（農業）振興・震災対策（土地の保水力の強化）・まちの景観づくり・子育て支援などにつながるのです。一つの政策で多くのシナジーが生まれるのです。スタッフの皆様、ご参加頂いた皆様、ありがとうございました。

終了後は、そのままアピタ前に移動して街頭活動。つい1か月ほど前には「この場所は午後から必ず建物の日陰になるし、ビルの谷間で風が強く、暑さを感じずにありがたい」と思っていたのですが、これからはそのことに対して全く逆の気持ちを持つことになりそうです。本当は「暑さ寒さも自然の恵み」と受け止めねばならないのでしょうか…

10.14 金

9月定例愛知県議会最終日 追加予算を議決

24

日間の会期で開催された9月定例愛知県議会も今日が最終日です。

追加で207億4,532万余円の補正予算が上程されました。これにより9月補正予算全体の規模は、本会議の初日に早期議決した分を含め既に提出されている814億5,484万余円を加え、1,022億17万余円となりました。

本日追加上程された主な補正予算としては…

- 物価高騰の影響を受ける子育て世帯支援のため「愛知県子育て世帯臨時特別給付金」として児童手当受給者を対象に児童1人1万円を支給
- 低所得世帯の高校生等を対象に、奨学給付金支給額に1人1万円を加算して支給

- 私立学校が学校経営のために要する光熱費について価格高騰によるかかり増し費用を補助



- 光熱費の高騰の影響を受ける社会福祉施設に対し、光熱費の高騰分を支援
- 光熱費の高騰の影響を受ける医療機関等に対し、光熱費の高騰分を支援
- 光熱費高騰の影響を受ける土地改良区等に対し、農業用水施設にかかる電気料金の負担軽減のための支援金を交付
- 子ども食堂 に対し、食材費の高騰分を補助
- 物価高騰の影響を受ける宿泊事業者に対し、ホテル・旅館のリノベーション等による高付加価値化を図る取組を支援

10.19 金

愛知用水土地改良区創立70周年記念式典

愛

知用水土地改良区創立70周年記念式典に出席しました。

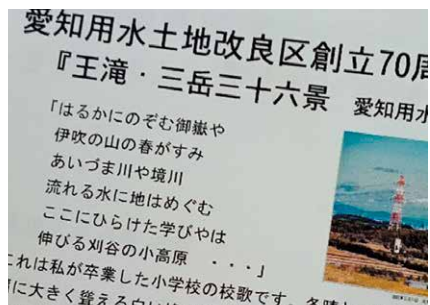
愛知用水事業は、篤志家の久野庄太郎氏と農業高校教員の浜島辰雄氏の献身的な努力と、これに賛同した知多郡農村同志会が一丸となって、国や県を動かして完成した事業です。そして、この農村同志会が愛知用水土地改良区の母体となったのです。

愛知用水はこの地の農業を支え、地域のライフライン、命の水として欠くことのできない存在です。今日の式典は「先人の偉業に思いを馳せ、未来へつなぐ」ためのよい機会であっ

愛知用水土地改良区創立70周年記念式



たと思います。



表彰の中で、刈谷市議会の先輩であった岡本博和氏が「全国土地改良事業団体連合会会長感謝状」を受けられました。永年のご尽力に心から敬意を表し、受賞をお祝い致します。

また、式典の冊子の中にわが母校小高原小学校の校歌の一節を見つけました。創立70周年の協賛展示として写真家の櫻井靖彦氏の写真集『王滝・三岳三十六景 愛知用水ふるさと紀行』の中から会場に数点の写真が展示されていたのですが、

それを紹介するページの冒頭に掲載されていたのです。

こうした会場で刈谷市の方の活躍に触れると本当に嬉しくなります。

10.26 水 子ども達の健康が国の豊かさ

オ

ーガニック給食を推進している千葉県いすみ市の太田市長が実行委員長を務める全国オーガニック給食フォーラムに参加しました。

農水省の藤木政務官や与野党の国会議員も来賓として10名ほど参加。市町村の首長さんの参加は34名、そのうち中野ゼロホルの会場での参加は24名。愛知県内でオーガニックビレッジに選ばれた東郷町の井俣町長さんの姿もありました。JAの組合長もパネルディスカッションで登壇しておられました。

会場参加者は約1000名、オンライン参加者は約1800名、全国各地でのオンラインでのサテライト会場参加者は約900名と大変な盛り上がりでの開催となりました。

2022年からみどりの食料システム戦略が打ち出され、2050年までに有機農業面積を50倍にする目標が掲げられ、有機給食が出口戦略に挙げられました。農業は出口戦略が大切です。

韓国では有機農産物の最大流通経路は、学校給食の39%です。今後、さらに病院や介護施設の食事に広がるそうです。農家は儲からないと続けられません。韓国ではオーガニック給食が始まり、農家収入が13%増加しています。

また、本年度オーガニックビレッジ宣言をする市町村が募集され、今年は55市町村(愛知県では東郷町と南知多町)が手を挙げ選定され予算が付きましました。こうした流れを確実に前進させる意義あるフォーラムであったと思います。

子ども達の健康が国の豊かさ。全国各地でオーガニック給食を一緒に実現しましょう。

10.29 土 その国の盛衰はその国の若者の姿を見れば判る

安

城市で行われた『ふれ愛ときめき西三河フェスティバル』に来賓として出席しました。

高校の公私間格差は正・私立高校の授業料無償化実現の目的で毎年開催されているイベントです。「その要望を県議会議員に直接訴えられる」ということで、この近隣の県議会議員が私を含めて7名出席しました。

2020年度から愛知県では、年収720万円未満世帯まで授業料と入学金の無償化が実現し、「私学に通う約半数の世帯が無償化」されましたが、やはり最終の目標は「世帯の収入に関係なく全て無償に」ということだと思います。

「そのためには、生徒の皆さんが勉強・スポーツ・音楽・芸

術・文化などやりたい分野、得意な分野で輝いている姿を、青春を謳歌している姿を見ることが大切です。その国の盛衰はその国の若者の姿を見れば判る・・・という言葉がありますが、皆さんが輝いていることがこの国を発展させることに繋がります。」そのような主旨で挨拶をさせて頂きました。



11.1 火 ジブリパーク開園と県政150周年記念事業

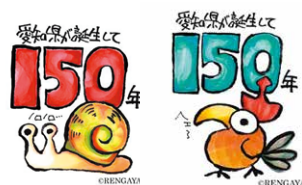
ジ

ブリパークが開園しました。その見どころや魅力についてはマスコミ等でも取り上げられていますのでここでは割愛しますが、実はこのジブリパークの開園も県政150周年記念事業の1つなのです。

今年は現在の愛知県が誕生して150年の節目の年です。そこでこの県政報告ではそのことに絡んだこれまでと今

後の取り組みについて紹介します・・・

■これまでに、愛知の歴史や魅力を紹介するポスターやパネル、スタジオジブリの鈴木敏夫氏に作成いただいたロゴマーク「いこま



いまい」「あいちゅん」等を活用し、市町村・企業と連携したイベント開催や商品企画、主要な鉄道駅での広告などにより、県民の皆様へ県政150周年のPRを進めて来た。

■ジブリパーク開園後は11月11日から6週末連続で、愛知の観光や飲食品・特産物をPRする「あいち市町村フェア」を開催する。(刈谷市は11月25日・27日)

■11月12日には、県内花火事業者の支援を兼ねた県政150周年を祝う花火イベントを愛・地球博記念公園で開催する。

■11月26日にはブルーインパルスを誘致し、県内の上空を広く巡って頂くことにより、祝祭感を一層盛り上げる。

■愛知芸術文化センターで行う11月27日の記念式典で

は、愛知の地域づくりに貢献された団体の皆様に敬意を表するため感謝状の贈呈、映画監督の堤幸彦氏の監修のもとで制作している150年の歩みを振り返る記念映像の上映、本県出身で経済界で活躍されてこられた丹羽宇一郎氏による講演、愛知を代表する名古屋フィルハーモニー交響楽団による演奏を行い、県政150周年のクライマックスにふさわしい式典となるよう全力で取り組む。

■県民の皆様へ郷土への愛着や誇りを一層深めていただくとともに、将来に向けてよりよい愛知を築き上げることを期するため、11月27日を「あい知県民の日」とすることを検討している。

11.17 木 ▶ 先の予定ですが、通行規制の予告です

私

の事務所前で行われている「桜町横断歩道橋」の工事について、深夜の時間帯ではありますが県道が通行止めとなる日がありますので事前にお知らせをします。

通行止め区間

①東陽町交差点～跨線橋～サンエイ本社前まで

②私の事務所前からさくら薬局駐車場まで

規制期間 11月17日(予備日18日)

規制時間 22時～翌5時

その間は迂回路をご利用ください。



12.18 日 ▶ 先の予定ですが、いよいよ宮上知立線バイパスが開通します

—

般県道宮上知立線バイパスが今年の12月18日に開通します。一里山金山交差点(近藤組さん前の交差点です)～今井病院前～名古屋岡崎線までの約2.0Km区間です。開通に伴い様々変更する箇所がありますのでお知らせします・・・

①この道路に関連する刈谷市道は12月1日(木)10時に開通します

②一里山金山交差点の西側市道は、県道宮上知立線の開通1週間ほど前に一方通行に変わります

③現道拡幅区間について、11月中旬以降に中央分離帯に防護柵を設置します

④交差する刈谷市道、今井病院入口部の中央分離帯は開通に合わせて閉鎖します

なお、今回開通する県道宮上知立線は信号交差点部以外には中央分離帯が設置されます

⑤刈谷市道の交差点改良に伴い、車両の通行経路が11月1日(火)より一部変更になります

刈谷市議会議員時代、毎年この時期に行う市長への「来年度予算に関する要望」において、必ずこの宮上知立線の早期開通を要望していただけたに、今回の開通は喜びも一入です。

